



平成 29 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名 アンジェス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経営戦略本部長 平崎誠司
電 話 番 号 03-5730-2641

オーストラリアで臨床試験届け (CTN) を提出 高血圧 DNA ワクチンの臨床試験開始に向け

当社はオーストラリアで計画している高血圧 DNA ワクチンの臨床試験について、オーストラリアの規制当局である薬品・医薬品行政局 (TGA) に 2017 年 7 月 19 日付けで臨床試験届け (CTN) を提出しましたのでお知らせ致します。

当社は、長期間に渡って血圧を下げる働きの期待される高血圧DNAワクチンの治療薬開発を目指し、オーストラリアにおける第 I / II 相臨床試験の準備を進めてきました。臨床試験に関する同国の倫理委員会で、実質的な審査機関であるHREC (Human Research Ethics Committee) の審査は既に終了しており、今回の届け出により臨床試験を実施するための行政上の手続きが完了しました。近く王立アデレード病院のSepehr Shakib教授の協力のもとCMAX Clinical Research社の施設で第 I / II 相試験を開始する予定です。

高血圧 DNA ワクチンについては、血圧上昇作用を持つ体内物質である「アンジオテンシン II」に対する抗体 (免疫作用により標的の物質に結合する分子) を体内で作成し、その働きを抑えることで高血圧を治療することを目的に開発を進めています。現在、高血圧の治療においては多くの経口医薬品が使用されていますが、これらの薬は毎日忘れずに服用する必要があるのに対し、注射剤である DNA ワクチンは一度の投与で長期間にわたって効果が持続することが期待されていることから、特に服用の難しい高齢の方を中心に患者さんの利便性は大幅に向上します。

高血圧治療の医薬品市場は国内だけで、主力の ARB (アンジオテンシン II 受容体拮抗薬) を中心に約 5,000 億円と巨大であり、この一部を代替することを目指す高血圧 DNA ワクチンには非常に高い事業性が期待されています。また、発展途上国では、薬価の高い ARB は有用性が高いにも関わらず医療経済上の問題から使用は限定されており、発展途上国でのニーズも極めて高いと考えられます。さらに、基礎研究においては、アンジオテンシン II を標的とした DNA ワクチンが心筋梗塞による心機能障害や虚血性脳疾患の治療にも有効であることが示唆されています。当社では、引き続きこの画期的な高血圧 DNA ワクチンの開発に取り組んでまいります。

なお、本件による平成 29 年 12 月期の業績への影響はありません。

以 上